

学び舎通信 月号

町内小中学校の情報を毎月お届けします



大小

人と人との「心」をつなげる

2月1日から2月8日まで、2年生が生活科の学習「大小ゆうびんきょく」に取り組みました。この学習では、郵便が届く仕組みや、郵便局員の苦労と努力を理解させるとともに、自分の生活は地域の人々に支えられていることに気付かせます。

休み時間に、郵便局員にふんした2年生が、手作りのはがきの回収や配達を行いました。2月2日には、郵便局見学でお世話になった大河原郵便局の局長と局員が見学に来てくださいました。本物の郵便局員さんからの働きぶりに大変関心しておられました。

児童は、役割を自覚し責任感を強め、友達と協力して活動しました。人と人との心のつながりが深まり、笑顔がたくさん見られた活動でした。

伝統と心意気の引継ぎ

南小の伝統と最高学年としての心意気を伝える「児童会引継式」が行われました。この引継式が終わると、児童会の仕事や鼓笛の活動がすべて6年生から5年生に受け渡されます。一人ずつにファイルや楽器が手渡されると、5年生は緊張した面持ちで「先輩に負けないように頑張ります」と答えています。6年生がこれまで築き、継承してきた伝統を守り育てていきたい思いが伝わってきました。



南小



全小

スキー教室

1月29日と2月5日の2日間、4年生がスキー教室を行いました。ほとんど経験がない子どもたちです。

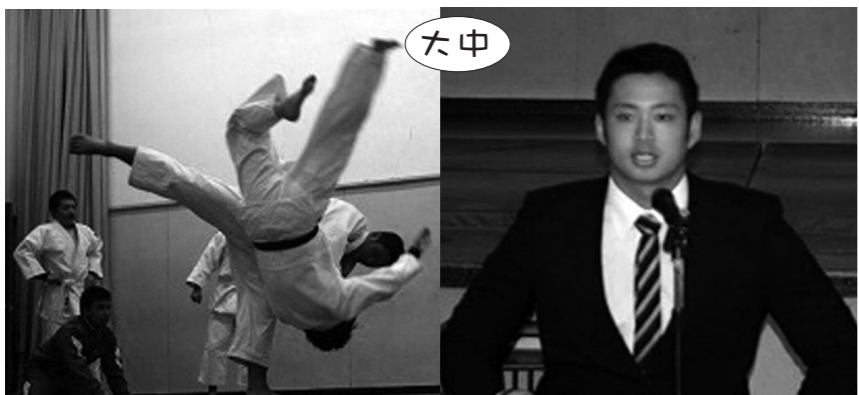
スキー教室は、町の生涯学習課の職員や保護者、地域の方々にボランティアとして指導をいただきました。

1日目は、全員がリフトに乗れるまでになりました。2日目は、全員が自力で滑ることができ、第1リフトを乗り継いで次のリフトに乗って何回も滑るなど大変楽しめました。

スキーは冬季の体力作りに最も適しているスポーツです。金ヶ瀬小学校の特色ある教育活動の一つとして根付いています。

「柔道一直線」志集會

1月21日本校卒業生の制野孝二郎選手をお迎えして集会を行いました。制野選手は現在日本大学の4年生で、3年生の時に体重別全日本学生大会で見事優勝した実績の持ち主であります。「自主性をもち、忍耐強く、真面目に愚直にコツコツと取り組むことが大切である。」というお話をいただきました。



大中

秒殺される柔道部顧問の野崎貴男先生

講演中の制野孝二郎選手



全中

働く人に思いをはせる金中生

建設が進む体育館の現場を全校生徒で見学しました。建設現場を見学することやそこで働く人たちを間近に見ることなどめったにない貴重な体験です。生徒たちは、様々な材料が使われていることや、堅牢な構造に驚くと同時に、安全のために細心の注意が払われている緊張感を感じ取ったようでした。

その後、作業をしている方々に「一生懸命仕事をしている姿が印象的でした。寒い日が続きますが、身体に気を付けて下さい。」などのメッセージをお届けしました。完成を楽しみにするばかりではなく、働く人へも思いをはせることができた見学会でした。



23 宝石のひつぎで眠る虫

「あや、そのブローチは琥珀ですか？よくお似合いですね。」この会話に出てくる琥珀は、アークセサリーのペンダントなどに使われる宝石の一種です。今回はその琥珀に閉じこめられた虫たちの話です。

琥珀は古昔の松や杉（樹脂）が固まって化石になったものです。それを掘り出して加工し、飾り物にしているのです。海外ではブルガリアの生産量が多く有名ですが、日本でも岩手県久慈市などでも産出します。

時に掘り出された琥珀の中に虫が入っている場合があります。うす茶色の透きとおったガラスのような琥珀の中の虫たちは、羽や脚などの細部まで鮮明に見ることが出来ます。

そのため、虫がつぶれない状態で観察できるので、古い時代の昆虫を調べる研究者は、研究材料として珍重しています。宝石としても虫入りのほうが値段は高いのだとか。普通の人にはただのアクセサリーでも、見る人が見れば宝の山というわけです。

宝石のひつぎで眠る琥珀の中のアリやハチなどはただの石の中で眠る虫たちから羨ましがられているかもしれません。「ジュラシックパーク」という映画では、恐竜の血を吸った蚊からDNAをとりだして恐竜をよみがえらせる話でした。もしも琥珀の中の虫から白亜紀の昆虫類を現代に復活させることができれば、世界仰天ニュースで放映されるかも。

1mを超える巨大なトンボが悠然と大空を舞う姿を想像しただけでもわくわくします。ただ、やるとしても巨大「クマブ」りなんかは勘弁してほしいですね。

次回も、虫たちのかくれんぼの話です。

元金小校長、昆虫教室(町教育委員会主催)講師 鈴木健司さん